

第2学年社会科学学習指導案

平成29年10月25日水曜日 第6校時

土佐清水市立清水中学校

2年3組 生徒数 男子17名 女子12名 計29名

場所 2年3組教室

指導者 田村 公利 印

(4) 近世の日本

ウ 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して、町人文化が都市中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。

1 単元名 「経済の成長と幕政の改革」

2 単元について

○ 単元観

幕府による支配体制が確立し、戦乱のない社会が形成された。そして、産業や海路を中心とした物流の振興・発達して経済が安定したことにより、都市や各地方で町人文化や生活文化が醸成された。また、民衆の活発な経済活動により、貨幣経済が農村のへと浸透し、米作以外に商品作物を栽培し、年貢を金納するケースさえでてきた。

反面、江戸時代中期から後期にかけて貧富の差が顕著となり、飢饉などの自然災害では農村から都市への人口流失や一揆・打ちこわしが増加した。

○ 生徒観

昨年度1月に当学年で実施した高知県学力定着状況調査では記述問題の無回答率が14.9%であった。また、4月に実施した社会科標準学力調査を分析すると、歴史的分野では思考問題で無回答が多いという課題がみられた。

そこで、個人の思考を学級全体で共有していく授業展開を意識して仕組んでいるが、意見を発表する生徒が固定化しており、十分な共有にはなっていないのが現状である。

個人思考を班学習を通して共有し、思考力の幅を広げていく機会をこれからも多く実施していくとともに、支援の必要な生徒も数人おり、これらの生徒にできるだけ興味関心を喚起していく工夫も必要である。

○ 指導観

本単元ではまず、「産業や海路を中心とした物流の振興・発達で経済が安定したことにより、都市や各地方で町人文化や生活文化が生まれた」ことに気づかせたい。

そのためにも、班でのグループ活動の中で、意見を出せるように、身近な地域の歴史教材を学習し、具体的に歴史事象を捉えられるよう工夫していきたい。

身近な地域では、どのような産業が振興し、それが現在とどう結びついているのかを探求し、学習を深めていくことにより、民衆の生き生きとした生活文化や活動が歴史を動かす原動力になっていることを捉え、それを言葉で表現させたい。

3 研究主題との関連

具体的に歴史事象を捉えていくために、土佐清水市立市民図書館や学校図書館の読み取りやすい資料や郷土資料を活用する。

4 単元の目標

「産業や交通の発達」については、図書館資料を活用した「身近な地域の歴史・調べ学習」の内容を生かし、民衆の生き生きとした経済活動や生活文化を具体的に捉えさせる。また、幕藩体制を立て直そうと繰り返される政治改革が次々と失敗に終わり、新しい学問や思想が広がり、政治や社会が不安定になっていく過程を理解する。

5 単元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	資料活用の技能	社会的事象について の知識・理解
経済の発達と都市の繁栄、町人文化や各地方の生活文化、政治の行き詰まりと繰り返される政治改革、新しい学問や思想などに対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	経済の発達と都市の繁栄、町人文化や各地方の生活文化、政治の行き詰まりと繰り返される政治改革、新しい学問や思想について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	経済の発達と都市の繁栄、町人文化や各地方の生活文化、政治の行き詰まりと繰り返される政治改革、新しい学問や思想に関する資料を活用し、読み取ったり図表にまとめたりしている。	繰り返される政治改革の内容や、町人文化が都市を中心に形成されたこと、各地方の生活文化が生まれたことを理解し、その知識を身に付けている。

6 指導と評価の計画

時 数	指導のねらい（目標） ・学習内容、学習活動	評価					評価方法
		関	思	技	知	評価規準	
1	江戸時代の土佐清水市域での鯉節加工 (調べ学習) (発表)			◎	○	◎図書館資料を有効に活用できている。 ○調べている内容が適切である。	ワークシート 観察
1	将軍のおひざもと、天下の台所（本時）		◎	○		○全国の耕地面積や収穫量が急増した理由を推測できる。 ◎江戸時代中頃、全国に特産物ができて、産業が振興したのはなぜかということを多面的・多角的に表現できる。	発表内容 ノート 発表用紙
1	花開く町人文化	○	◎			◎近世の文化のなかには、歌舞伎・年中行事など、現代に受け継がれているものが多いことを指摘することができる。 ○浮世絵や装飾画、庶民が歌舞伎を楽しむ様子の絵などを観察しながら元禄文化に関心を高め、その特色について意欲的に調べようとしている。	観察 ノート

1	連判状にまとまる人々	○		◎	◎百姓一揆や打ちこわしが増加した背景と原因について、「百姓一揆・打ちこわしの発件数の移り変わり」のグラフ等を活用して調べている。 ○「傘連判状」の署名の工夫に関心を高め、百姓一揆や打ちこわしが増加していく原因を、貨幣経済の広まりや天災・凶作と関わらせながら意欲的に調べようとしている。	観察 ノート
1	繰り返される政治改革		○	◎	○幕府による一連の政治改革を、推進した人物・政策とねらい・民衆の動き・社会的な事件・改革の結果などの観点から整理して考察している。 ◎幕府による享保の改革、田沼の政治、寛政の改革を比べ、それぞれの改革の目的や手段、結果について理解している。	観察 ノート
1	「読み・書き・そろばん」の習い	◎			○◎『解体新書』をはじめ、この時期の学問、文学、美術などの作品に関心を高め、化政文化の特色について意欲的に調べようとしている。 ○化政期に生まれた新しい学問や思想・文化などの特色・内容・時代背景について理解している。	観察 ノート

7 本時の指導

(1) 本時の目標

江戸時代中頃、各地に特産物が誕生し、産業が発達したことは、社会にどのような影響を与えたのだろうか。身近な地域の歴史・調べ学習を生かして、多面的・多角的に表現することができる。

(2) 本時の評価規準

- ①全国の耕地面積や収穫量が急増した理由を推測できる。(資料活用の技能)
- ②調べ学習で得た知識が定着している。(知識・理解)
- ③江戸時代中頃、全国に特産物ができて、産業が振興したのはなぜかということを多面的・多角的に表現できる。(思考・判断・表現)

(3) 準備物 パソコン・プロジェクター・掲示票グラフ・発表用紙・マジック

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法
導入	全国の耕地面積と収穫高の移り変わり(グラフ)からわかることを見つける。	グラフを拡大・掲示	グラフの読み取り (資料活用の技能)
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【めあて】江戸時代の中頃、各地に特産物ができ、産業が発達したことは、社会にどのような影響を与えたのだろうか。</p> </div> <p>○江戸時代の中頃から産業はどのように変化していったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業が発達・水産業漁獲拡大 ・塩や醤油の生産増加・貨幣鋳造 ・大阪「天下の台所」(集積地) ・株仲間や商人が力をつけた。 <p>○江戸時代の土佐清水市域ではどんな産業が発達したか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鯉節加工・捕鯨 ・山城屋などの廻船商人 <p>○江戸時代の中頃、各地に特産物ができ、産業が発達したことは、社会にどのような影響を与えたのだろうか。</p>	<p>《個人思考》 プロジェクターで資料を提示し、興味を持たせる。</p> <p>《復習》</p> <p>《個人思考》→《班》 教科書や資料等を使って根拠を示すことができるように指示する。</p>	<p>教科書を事前に予習させ、まとめさせておく。</p> <p>前時の調べ学習の内容を確認しておく。</p> <p>江戸時代中頃、全国に特産物ができて、産業が振興したのはなぜかということを多面的・多角的に表現できる。 (思考・判断・表現)</p>
まとめ	<p>◎海上交通の発達により物資の流通システムが確立され民衆の商業活動が広がった。</p> <p>◎各地の特産物が都市に流通し、各地に利益をもたらし、経済が潤った。</p> <p>◎経済が活性化され、民衆の生活が向上し、文化の質も向上した。</p>		
振り返り			

7 板書計画

p 114～115.
将軍のお膝もと、天下の台所
(めあて)
江戸時代の中頃、各地に特産物ができ、
産業が発達したことは、社会にどのよう
な影響を与えたのだろうか。

○江戸時代中期の産業の変化
[]
(都市) 江戸 大阪「天下の台所」
株仲間をつくる 商人の力増大

○江戸時代の土佐清水市域
[]
(まとめ) 廻船による海上交通の発達により経済活動が
活発になった。
(振り返り)

①グラフの読み取り
②めあて
③学習
④まとめ
⑤振りかえり

班の発表 「江戸時代の中頃、各地に特産物ができ、産業が発達したことは、社会にどのよう
な影響を与えたのだろうか。」
」

1 班	4 班	7 班
2 班	5 班	8 班
3 班	6 班	